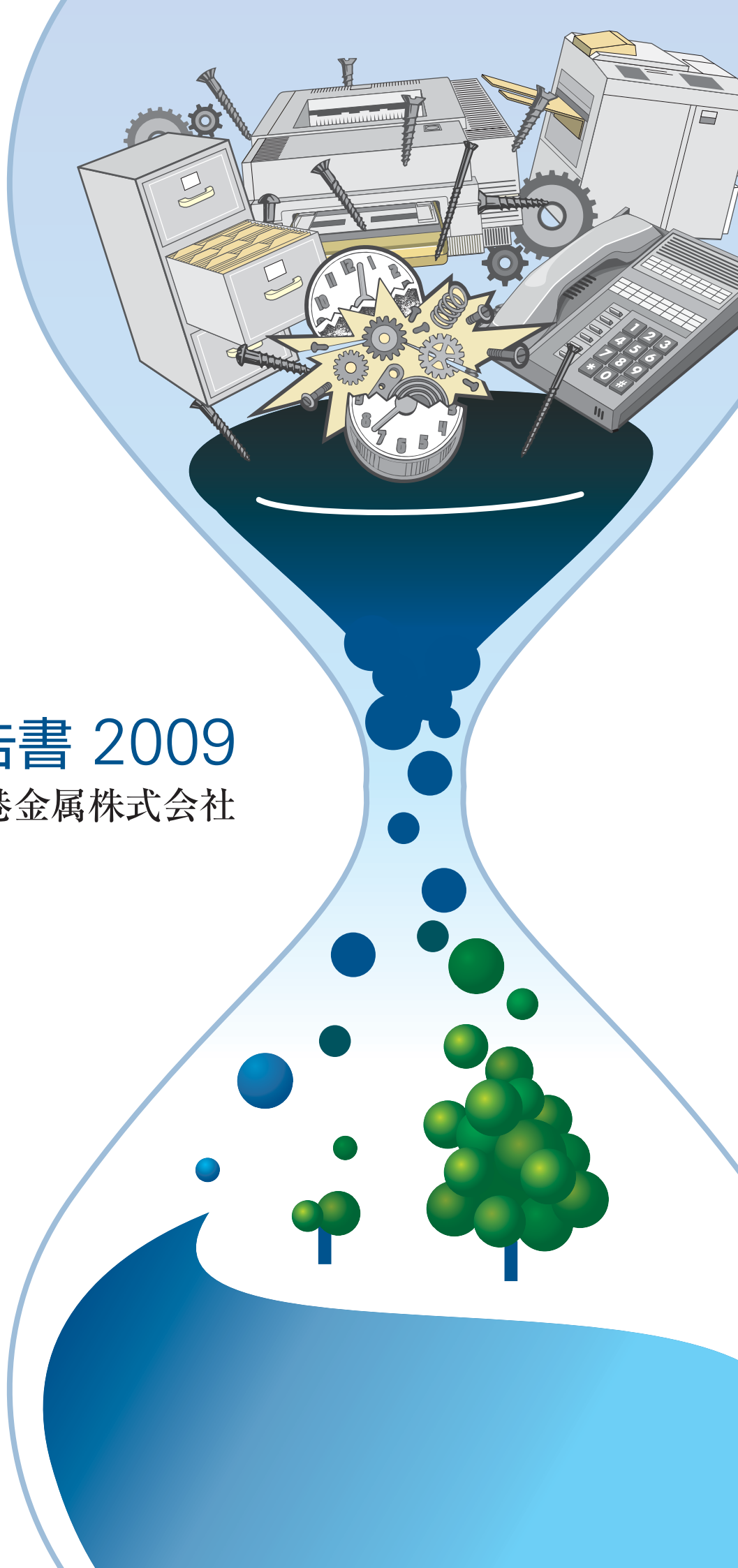




環境報告書 2009

東港金属株式会社

東港金属株式会社は創業107年を迎えました。

これからも循環型社会形成のため

真面目に努力してまいります。



編集方針

東港金属株式会社はステークホルダーの皆様へ、当社の環境への取組み姿勢を中心とした業務内容をそのまま報告することにより、皆様の良きリサイクルパートナーとして事業活動の透明性、信頼性を評価いただきたく、環境的側面、社会的側面、経済的側面を載せて環境報告書を作成いたしました。お気づきになりましたことなど、ご指摘ご指導を賜りたくお願い申し上げます。

発行3年目を迎える本年は、千葉工場に廃棄物中間処分業の許可が下りたことを踏まえ、最新のリサイクル処理システムを紹介し、リサイクル効率アップへの貢献と、収集運搬の協力をいただいているトライマテリアル株式会社を紹介しております。

なお、環境に配慮し、印刷物は発行せずに、ホームページ上に掲載させていただきました。

ホームページ

<http://www.tokometal.co.jp/>

環境報告書

2007年（2007年12月）

<http://www.tokometal.co.jp/ems-isms/env-report/2007.pdf>

2008年（2008年12月）

<http://www.tokometal.co.jp/ems-isms/env-report/2008.pdf>

お問い合わせ先

東港金属株式会社 経営企画室
〒105-0014

東京都港区芝2-7-2 芝園ビル4F

TEL：03-5730-0880（代表）

FAX：03-5730-0440

Eメール：info@tokometal.co.jp



環境報告書対象組織

この環境報告書は、
東港金属株式会社全社
(本社・本社工場・千葉工場・東京事務所)と、協力会社
であるトライマテリアル株式会社の運輸部門を範囲と
しました。

対象期間

当社の第64期(2008年7月～2009年6月)をまとめ
たものです。

発行 2009年11月

準拠、参考ガイドライン

この環境報告書は
環境省「環境報告ガイドライン(2007)」を参考にして
作成いたしました。

も く じ

東港金属株式会社について	3
ごあいさつ	5
経営理念	6
環境方針	7
事業活動における環境負荷の全体像	8
中期環境保全計画(負荷低減への取り組み)	9
マネジメント体制(環境&情報セキュリティ)	11
リサイクルフロー(本社工場&千葉工場)	13
環境への取り組み	15
教育・コミュニケーション	17
トピックス	18
協力会社の紹介	19
法的及びその他の要求事項と取り組み	21
ガイドライン対照表	22

東港金属株式会社について

会社概要

社 名 東港金属株式会社 Toko Metal Co.,Ltd
本 社 〒143-0003 東京都大田区京浜島2丁目20番4号
代 表 者 代表取締役社長 福田 隆
設 立 1902年（明治35年）7月
資 本 金 10,000万円
従業員数 60名（2009年4月1日現在）
年 商 約49億円（2009年6月期）
事 業 所 本社、本社工場、千葉工場、東京事務所
協力会社 トライマテリアル株式会社

事業内容

- *金属スクラップ全般に関する業務（国内/輸出入）
- *プラスチックの各種リサイクル
- *産業廃棄物の収集、運搬及び中間処理業、リサイクル
- *産業廃棄物中間処理許可【東京都 第13-20-018874号】
- *産業廃棄物収集運搬（保管積替含む）許可
【東京都 第13-10-018874号】
神奈川県・横浜市・川崎市・横須賀市、埼玉県、
千葉県・千葉市、他
- *家電リサイクル法の指定引取場所
- *その他



シュレッダー後の再資源化金属原料（千葉工場）



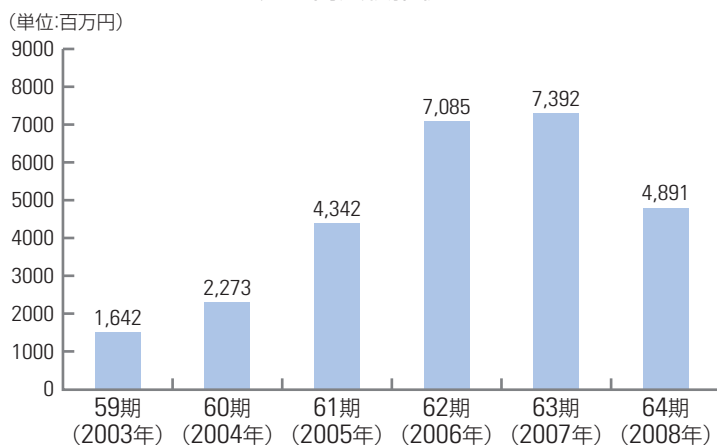


沿革

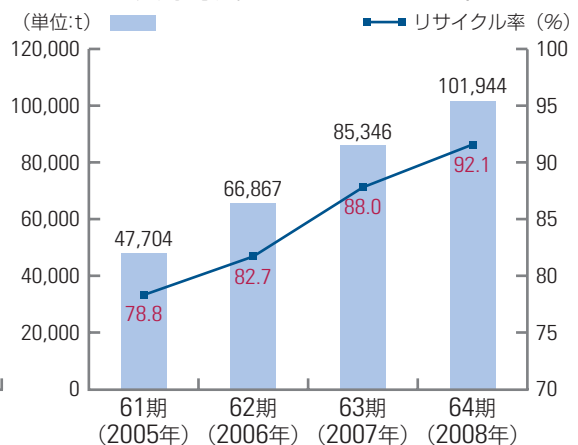
1902年（明治35年）	創業者福田勝西が、東京市神田に伸銅品と非鉄金属地金の問屋を開業 終戦後、店を芝金杉に移す。
1947年（昭和22年）	会社組織にし、製品の問屋業を株式会社福田地銅店が、 地金の問屋業を東港金属株式会社が扱う事となった。
1960年（昭和35年）	東京精錬株式会社を設立、銅合金の精錬及びインゴット製造を行なう。
1978年（昭和53年）	栗山鑄造株式会社及び株式会社アイアイデーの両社を合併し、 東京精錬株式会社の社名を東京銅基合金工業株式会社と商号変更した。
1997年（平成9年）	精錬部門と営業部門が一体化し、東港金属株式会社が 東京銅基合金工業株式会社を吸収合併し、東港金属株式会社となる。
2001年（平成13年）	家電リサイクル法施行に基づき指定引取場所となる。
2002年（平成14年）	東京都とエコトライ協定を締結。
2003年（平成15年）	家電リサイクル指定引取場所及びスクラップ取扱い増を 目的とした第二ヤードを開設する。
2004年（平成16年）	プラスチック用ベラー設置により、リサイクルへの取組みが 一段と推進される。
2006年（平成18年）	ISO14001認証取得。
2007年（平成19年）	東京都港区芝に東京事務所を開設し、営業部門及び事務部門の一部を移転。
2008年（平成20年）	千葉県富津市に建設中の千葉工場が本格稼働。
2009年（平成21年）	千葉工場が産業廃棄物中間処理の許可取得。 ISO27001の認証取得。 ISO14001の更新認証取得。

売上・受入れ量・リサイクル率の実績

売上高実績推移グラフ



資源等受入量とリサイクル率



ごあいさつ

循環型社会形成のための3R推進

リサイクルパートナーとしての使命を自覚し 排出事業者や地域社会に貢献します



東港金属株式会社 Toko Metal Co.,Ltd
代表取締役 President
福田 隆 Takashi Fukuda

東港金属株式会社は、お客様である排出事業者をはじめ、処分事業者のご協力、行政当局のご指導、そして地域社会の皆様のご理解のもとに、お陰をもちまして創業107年を迎えることができました。

世界的に「環境」が大きなキーワードとなっており、地球温暖化の危機とともに、天然資源枯渇への懸念も年々増大している中で、東アジア諸国の経済発展に伴う資源の需要は増す一方となっております。天然資源の海外依存度が高い我が国では、循環型社会を形成し、限りある天然資源を少しでも多く次世代へ引き継ぐために、中間処理業としての当社の使命はますます重要になると、その責任を日々強く認識しております。

当社は創業以来の経験を活かし、処理設備の改善を続け、お引き受けした産業廃棄物を出来る限り循環システムに乗せることで埋立処分量の軽減を図り、排出事業者様が、当社に処理委託をされることにより、より優れた循環システムの形成に参加しているのご満足を得られるように努めております。

特に、本年2月に処分業の許可が下りた千葉工場では、ドイツ製の最新シュレッダーをフルに活用して、リサイクル率を一段とアップさせることが可能となりました。更に処理工程での投入方法等の改善を続けており、稼働時間内でのエネルギー使用効率を高めるための努力をしているところです。2008年度は金融危機を発端とした世界経済不況の嵐の影響で、売上高は減少いたしましたでしたが、資源等受入量は増やすこと

経営理念

感謝される都市型総合リサイクラーとして、
社会に貢献する世界一のリサイクラーを目指し、日々邁進する。

- 1) 経済的な、競争力のあるリサイクリングを広める。
- 2) リサイクル業を一流のサービス業に位置付ける。
- 3) 最高のリサイクル率を地域やお客様に提供する。

我々の使命は、地球環境保全に貢献し、経済的で、お客様に感謝される世界一のリサイクリングを提供するという大目標に向かって邁進することである。

東港人の基本精神 **【情熱・熱意・執念】で・・・すぐやる
必ずやる
出来るまでやる**

が出来、資源保護の一役を果たすことが出来ました。

当社は、環境保全活動を継続的に取り組むため、2006年7月に環境マネジメントシステムISO14001の認証を取得し、全従業員がその環境方針を遵守し、全ての部署で環境保全対策を実施しています。すでに2度の定期サーベイランス審査を受けることで、毎年初心に戻り業務を推進しているところです。更新審査の本年は、認証範囲を既得の本社工場に加えて、千葉工場及び協力会社のトライマテリアル株式会社東京営業所を含めて認証を取得いたしました。

一方、情報セキュリティへの対応としまして、保有する情報資産を保護し、利害関係者の信頼

を得るセキュリティ体制の確保を目的として、本年4月に情報セキュリティマネジメントシステムISO27001を認証取得しました。従業員一人ひとりが、真面目に法を遵守し、ステークホルダーの皆様へ企業活動の透明性をお示しすることで信頼していただく努力をしております。

当社は、事業活動の推進そのものが、循環型社会形成への一助となる大きな任務を負っていることに誇りと責任を持ち、天然資源の枯渇抑制に貢献することを行動指針に入れており、日本に昔から根付いている「物を大切にする習慣」の心をお客様から受け止めて、今後とも感謝される都市型総合リサイクラーを目指して日々努力を続けて参ります。

環境方針

東港金属株式会社は、資源循環型社会の一翼を担う金属加工処理業ならびに産業廃棄物の収集運搬及び中間処理業等の事業を通じて環境負荷の少ないリサイクルに正面から取り組み、社会に貢献できる企業を目指し、従業員が一丸となり環境保全対策を実施し、地球環境保全のために尽くします。

1. 当社の事業活動、製品及びサービスに関わる環境側面を常に認識し、汚染の予防に努めるとともに環境マネジメントシステムの継続的改善を図ります。
2. 当社の環境側面に関係して適用可能な法的要求事項、及び自主的に受入を決めたその他の要求事項を順守するために自主基準を設け、管理し、環境保全水準の向上を図ります。
3. 当社が行う事業活動、製品及びサービスが環境に与える影響の中で、以下の項目について重点テーマとして改善活動を推進します。

重点テーマ

- (1) 取扱商品の入荷量を拡大することにより、資源のリサイクル率向上を目指し天然資源の枯渇の抑制に貢献するとともに、最終処分量の削減に努めます。
- (2) 千葉工場のシュレッダー業務の効率化を図り、処理量拡大を図ります。
- (3) 各種車輛、重機等に使用する燃料の削減を図り、地球温暖化と化石燃料資源の枯渇の抑制に努めます。
- (4) 工場内のプラント設備、事務所の照明・空調等に使用する電力使用量の削減を図り、地球温暖化と化石燃料資源の枯渇抑制に努めます。
- (5) 環境保全の質的向上を図り汚染の予防と周辺地域環境の向上に努めます。
- (6) 資源の有効活用のため、コピー用紙使用量の削減に努めます。

2009年4月20日
東港金属株式会社
代表取締役 福田 隆



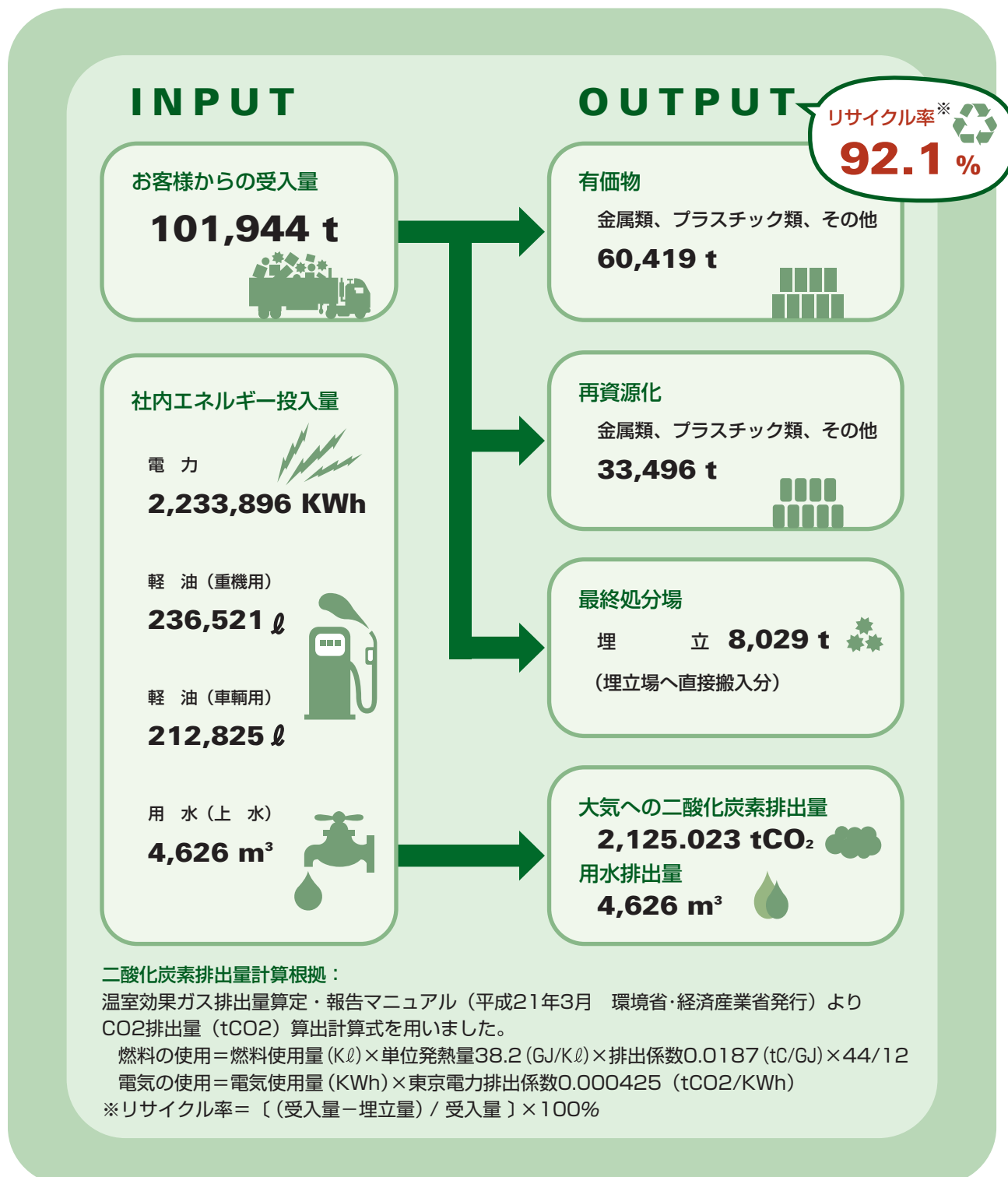
事業活動における環境負荷の全体像



マテリアルバランス報告

事業においては、常に資源のリサイクル率や、再資源化の向上を図るための活動努力を行いますが、一方では環境に負荷を与えることも避けられません。そのような状況の中でどんなに小さい作業でも、どうしたら環境負荷を低減しながら処理できるかを常に考え、資源の有効活用に取り組んでいます。

第64期(2008年7月～ 2009年6月) の本社及び千葉工場における主な環境負荷は下図の通りです。千葉工場を新設稼働させたことにより、大気への二酸化炭素排出量は増加しましたが、本社工場単独では減少しております。



中期環境保全計画

負荷低減への取組み

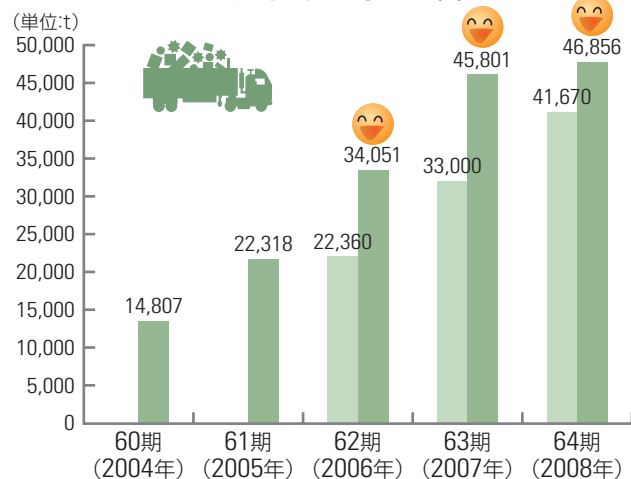
東港金属は、事業活動、製品及びサービスが環境に与える影響の中で、環境保全計画として、省エネ省資源化の達成すべき目標を設定しました。今64期は前期に続き目標をクリアできました。

部門	64 期 目 標		年度末目標	結果数値	達成度
	推 進 項 目	施 策			
全社	資源受入量の拡大	(1) 仕入れ価格の適正化 (2) 商品の在庫期間圧縮 (処理能力向上) (3) 受入ヤードの整備 (処理能力向上) (4) 仕入先の拡大 (顧客拡大)	対61期 22,318tの 187%目標 ↓ 41,670t/年の達成	46,856t	対目標値 +12.4% 
	最終処分量の削減 リサイクル率(%) = [受入量(t) - 埋立量(t) / 受入量(t)] × 100	(1) サーマルリサイクル処分 先の拡大(埋立量の削減) (2) 選別ラインの導入 (3) 客先への選別徹底の提案 (4) 再生処理品の拡大	年度末 88.5%の達成	92.1%	対目標値 3.6ポイントの リサイクル率 向上 
	コピー用紙使用量削減 コピー用紙使用量原単位 = コピー用紙購入枚数(枚) / [製品入荷量(千t) + 出荷量(千t)]	裏紙の使用徹底 不要資料の作成削減 配布資料及び配布先の適正化 メール・電子化の推進 棚卸し不用品資料の活用	61期実績値 3,131枚/千tの 29.7%削減 ↓ 2,200枚/千tの達成	1,514枚/千t	対目標値 31.2%の 削減達成 
本社工場	電力使用量削減 電力使用量原単位 = 電力使用量(kwh) / 製品出荷量(千t)	(1) 破砕機の効率的運転 (2) 電気使用機械の 効率的運転 (3) エアコンの適正温度運転 (4) メインスイッチの こまめな切断	対61期 16,394Kwh/千tから 18.9%削減 ↓ 13,300Kwh/千tの達成	13,276 kwh/千t	対目標値 0.2%の 削減達成 
	燃料使用量削減 (運搬車輛 + 重機車輛) 燃料使用量原単位 = 燃料使用量(ℓ) / [製品入荷量(千t) + 出荷量(千t)]	(1) アイドリングストップの 励行 (2) アクセルの吹き過ぎ防止 (3) 効率的な積み降ろし・運搬 (4) 省エネ車の導入 (運搬車輛) (5) 車輛の定期点検・整備	対61期 3,390ℓ/千tの 36.3%削減 ↓ 2,160ℓ/千tの達成	2,060ℓ/千t	対目標値 4.6%の 削減達成 
千葉工場	電力使用量の削減	(1) 破砕機の効率的運転 投入量拡大⇒破砕機負荷に低減 (2) 昼休み時間帯の電源切断	64期 11月('08/11) 実績 74,100Kwh/千t ↓ 71,500Kwh/千tの達成	63,900 kwh/千t	対目標値 10.6%の 削減達成 
	シュレッダー業務の効率化	時間当たりの処理量拡大 (1) 破砕機の効率的運転 (2) 投入コンベヤーの 速度制御	64期 11月('08/11) 実績 10.9t/h ↓ 11.0t/hの達成	12.29t/h	対目標値 11.7%の 処理量拡大 達成 

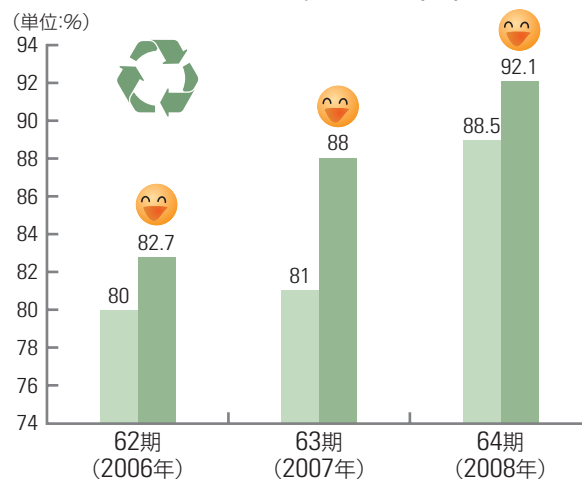


推進項目の予実績推移

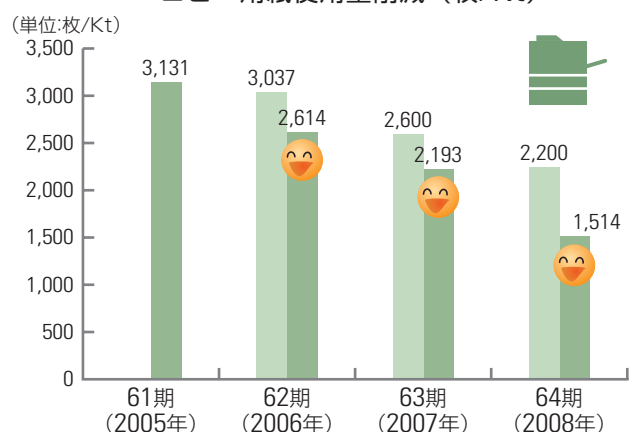
資源受入量拡大 (t)



リサイクル率アップ (%)



コピー用紙使用量削減 (枚/Kt)

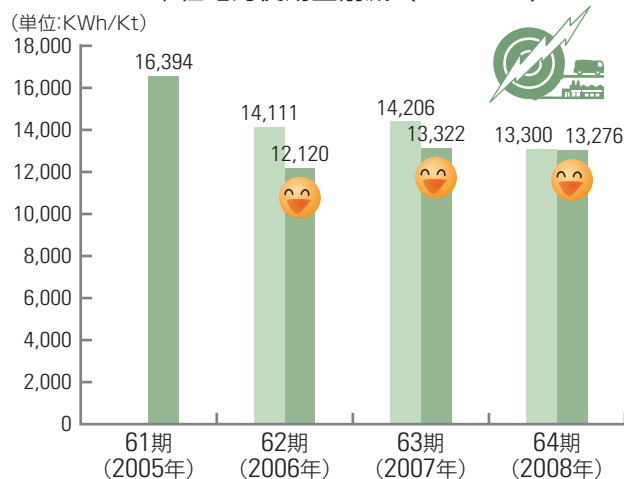


目標

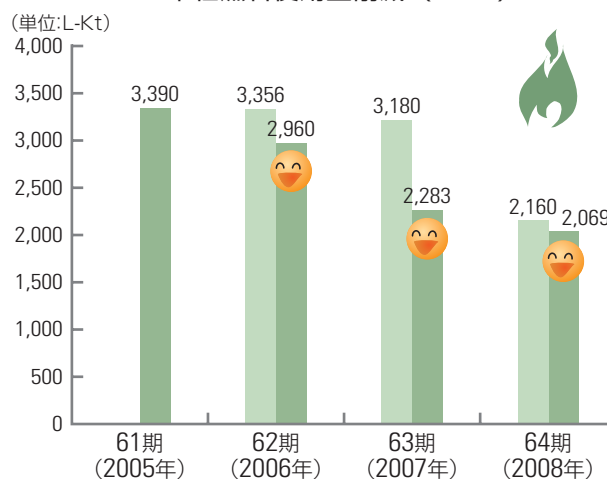
実績

達成

本社電力使用量削減 (KWh/Kt)



本社燃料使用量削減 (L/Kt)



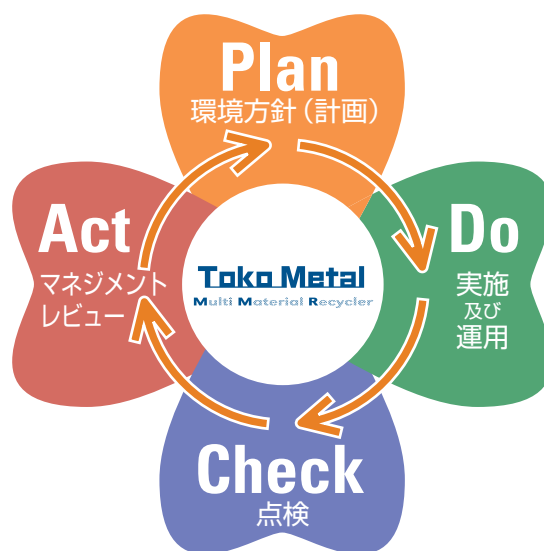
マネジメント体制

環境マネジメント体制

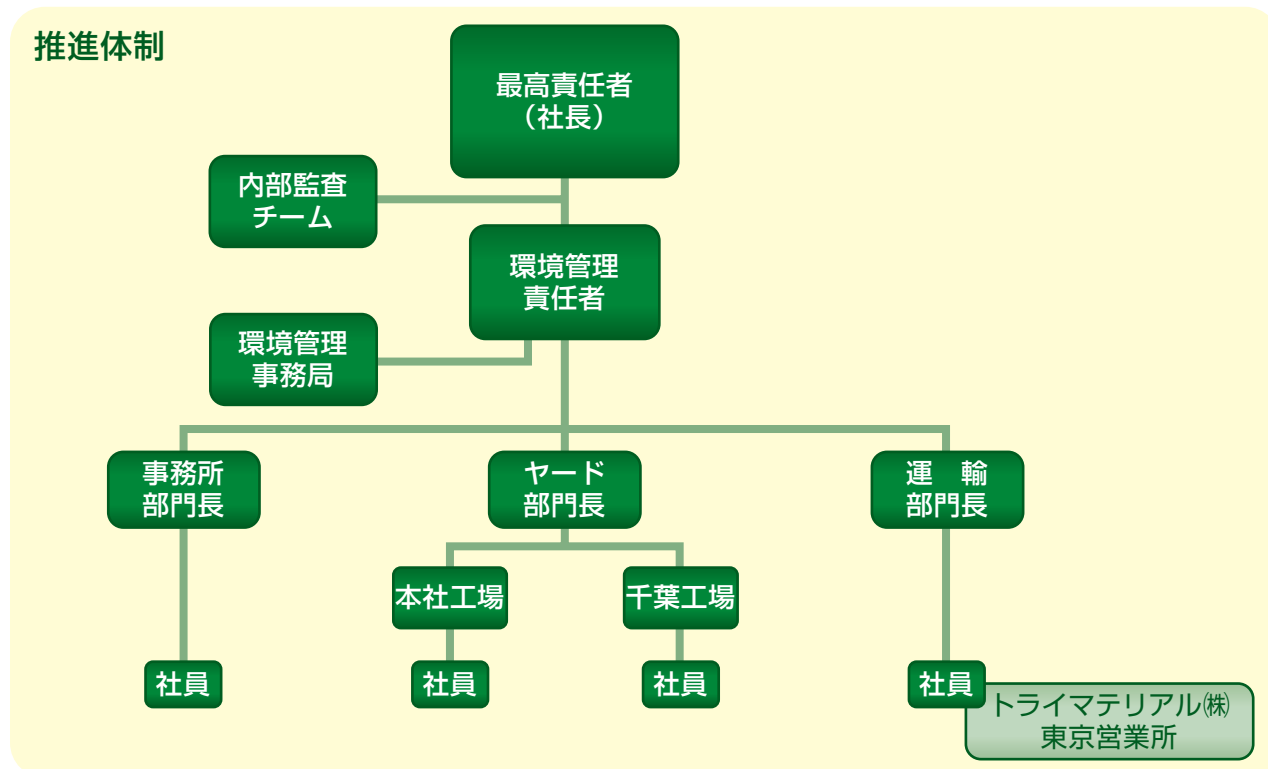
当社は、地球温暖化をはじめとする環境問題の改善に取り組むために、社長をトップとした環境マネジメント体制を組織し、環境マネジメントシステムISO14001の認証を取得、Plan-Do-Check-Actにより継続的な改善を目指しています。



継続的改善



推進体制



環境マネジメントシステム（ISO14001）認証を更新

環境の継続的改善を目指して2006年7月に認証取得したISO14001は3年を経過しました。

更新審査の本年は、認証範囲を既得の本社工場に加えて、千葉工場及び、協力会社のトライマテリアル株式会社東京営業所に拡大し、6月に登録証を取得いたしました。

その環境方針に基づく行動指針を全従業員が常に認識し、事業活動、製品及びサービスに関わる環境側面の継続的改善を図るとともに、適用可能な法的要求事項、及び自主的に受入を決めたその他の要求事項を順守するために自主基準を設け、管理し、環境保全水準の向上を図ってまいります。



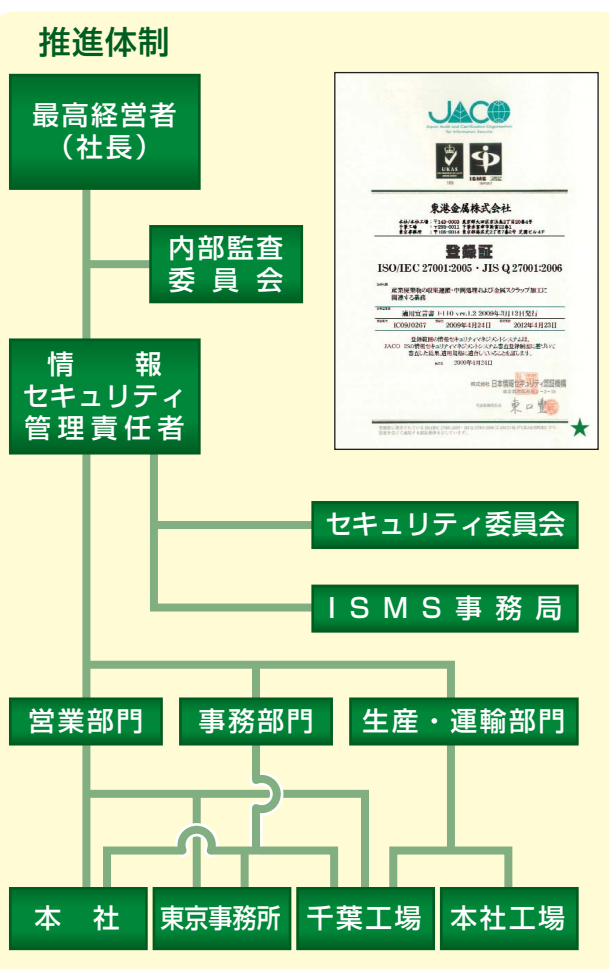
情報セキュリティマネジメント体制

当社は、事業を進めていく上で、顧客や社員情報等の重要情報を守るために「個人情報の保護に関する法律（個人情報保護法）」に対応し、情報セキュリティ管理責任者を定め、2009年4月に「情報セキュリティマネジメントシステム」ISO27001の認証取得をいたしました。

情報セキュリティマネジメントシステム（以下ISMS）規格に準拠するマネジメントシステムの構築、維持のPDCAプロセスを通じて、これらのリスクに対応する仕組みを確立することが当社の重要な顧客サービスとなることを認識し、ステークホルダーの皆様が、リサイクルパートナーとして、安心して当社をご利用いただけるよう、従業員が一丸となりISMSを実施、推進してまいります。

情報セキュリティ研修の実施

ISO27001の目的を全従業員に周知し、ステークホルダーの情報、資産、また社員の個人情報を守り、会社としての社会的責任を果たすための研修やテストを定期的実施しています。



情報セキュリティ基本方針

1. 目的と活動の原則

東港金属株式会社は、金属加工処理業ならびに産業廃棄物の収集運搬及び中間処理業等の事業を進めていく上で、顧客情報や処理を受託した機器の記録部の中に含まれている情報等の重要情報を保有している。

一方、事業の拡大に伴う本社事務所とヤード、他事業所、事務所等との情報伝達経路の多様化により、情報の漏洩、改ざん、センター機器や情報伝達経路の不具合による事業活動の遅滞や停止等の潜在的なリスクを有している。

情報セキュリティマネジメントシステム（以下ISMS）規格に準拠するISMSの構築、維持のPDCAプロセスを通じて、これらのリスクに対応する仕組みを確立することが当社の重要な顧客サービスとなることを認識し、従業員が一丸となりISMSを実施し、顧客及び当社の継続的な事業発展のために、ここに情報セキュリティ基本方針を制定する。

2. 法令・規程・規則

顧客情報・顧客資産・従業員個人情報の保護の責務を果たすため法的要求事項、及び自主的に受入を決めたその他の要求事項を順守、管理する。

3. ISMS組織体制の確立

事業の変化とそれに伴うリスクの変化に対して適切に対処するために、情報セキュリティ管理責任者を任命し、その下にセキュリティ委員会とISMS事務局を設ける。

また、ISMSのPDCAプロセスが適切に機能していることを評価する内部監査組織を設置する。

情報セキュリティ管理責任者とISMS事務局は、当社のISMS全般に亘る管理、運営を行う。

4. リスクへの対応

顧客情報と会計販売情報の機密性を最重要視する。これら情報の漏洩は当社の信頼性を著しく損ない、悪用されれば当社の事業継続に重大な影響を及ぼすと考えられる。

また、これら情報が集積しているサーバとその伝達経路の不具合は、業務遂行上の重大なリスクであり、完全性と可用性を考慮する。

なお、リスクマネジメントは、客観的に体系化され、重要なリスクを有効に見出す仕組みとして、継続的に見直しを行なえるものとする。

リサイクルフロー

本社工場リサイクルフロー

多品目の取り扱い、徹底した選別で出来る限り再原料化・再燃料化を実現し、資源が循環することを目指しております。

1. 収集運搬 / 搬入

従来、種類別・マテリアル別に専門業者に振り分けて搬入していた廃棄物、混合物、有価金属などを、窓口ひとつでの受入が可能です。



平ボディー



台貫

3. 破碎

最新鋭高速切断機〔ギロチンシャー〕の導入をはじめ、複数の破碎機やジャンボプレスベラー、天井クレーンを刷新し、作業効率と処理スピードの向上を実現した。さらに、ヤード内のレイアウトに配慮し、作業のオートメーション化を促進。



ギロチンシャー



二軸破碎機

5. 圧縮 / 梱包

鉄、ステンレス、銅、アルミ、プラスチック、基板、その他をそれぞれ圧縮梱包していきます。



ベラー



プレス機



再生プラ原料 (PET)



アルミ

2. 分別 / 解体

大型廃棄物から鉄と非鉄、プラスチックまで分解・選別することができる〔マルチ解体機〕〔大型磁力選別機〕を保有。併せて手作業による徹底した分解、仕分けを実践した後、ヤード内にある仕分け用ピットで細分管理。



パソコン/OA機器の手解体



マルチ解体機での解体

4. 選別

手選別で丁寧に選別しております。

今後、更に選別の効率を上げるための検討を進めてまいります。



仕分ピット

6. 適正処理

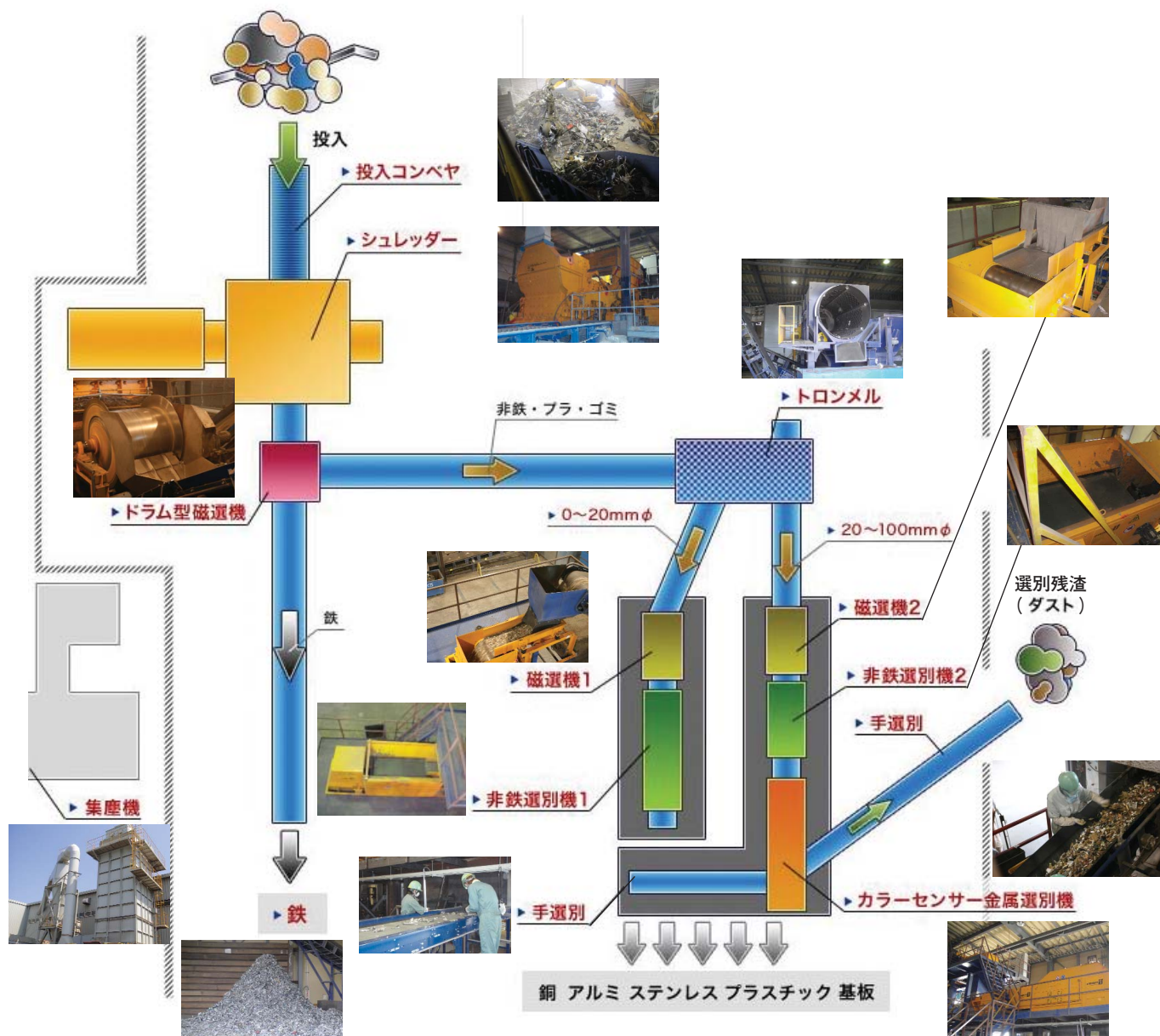
プラスチックフレーク、プラスチックベール、銅系再生合金、電線ナゲット銅、再生銅原料、木くずチップ、古紙原料、カレット、プラスチック燃料など、可能な限り再生原料化（マテリアルリサイクル）と、再生燃料化（サーマルリサイクル）を実現。



千葉工場 破碎・選別工程フロー

千葉工場のリサイクルフローでは、破碎と選別工程に最新鋭の設備を導入しております。

破碎には1千馬力のシュレッダーを導入し、シュレッダーで破碎した後は、磁選機・カラー選別機・手選別により、鉄・各非鉄・その他に選別し、後工程の圧縮梱包/適正処理の工程に移ります。



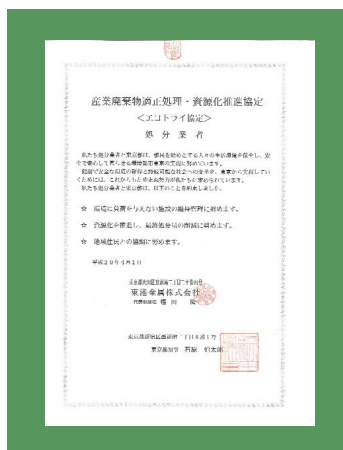
設備仕様

設備名	製作会社国名	処理能力、特性等（カタログより）
シュレッダー	ドイツ	30t/H、千馬力の大型破碎機
トロンメル	日本	0~20mm φ、20~100mm φと100mm φ以上を分離する、円筒型の回転ふるい装置
ドラム型磁選機	ドイツ	磁力により混合物の中から鉄を分離する磁力選別機形状や取り付け方により名称が変わる
磁選機	ドイツ	
非鉄選別機	ドイツ	鉄と非鉄を分離するために渦電流を利用した選別機
カラーセンサー金属選別機	ドイツ	対象物の色を取り込み素材を特定して選別する装置
集塵機	日本	電気式と濾布式の組合せ型

環境への取組み

東京都と「エコトライ協定」を締結しています

東港金属株式会社は、処分業者として平成14年11月1日に東京都とエコトライ協定（産業廃棄物適正処理・資源化推進協定）を締結し、平成20年4月に再締結いたしました。平成21年度については、東京都が新たな評価制度（優良性基準適合認定制度）の導入準備のため、募集がありません。



廃家電品リサイクルに協力しています

当社は、家電リサイクル法（特定家庭用機器再商品化法）に基づく、家電メーカーの指定引き取り場所として、排出された使用済み廃家電品を引き取り、メーカーごとに選別して、メーカー指定リサイクル工場に引渡し、適正にリサイクルされるよう協力しております。



環境調査をしています

本社工場と千葉工場で、業務に伴って発生する騒音・振動・悪臭・粉じんと、構内から排出される雨水中の含有物質を、自主的に測定しております。

今年の測定では自主基準値内でしたが、今後も敷地内の緑化や、壁面の工夫等の改善をして周辺環境の保全に努めてまいります。環境調査結果概要版をホームページ上に公開いたしました。

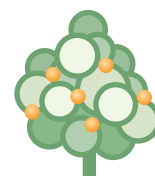


特定フロンの回収をしています

当社は、フロン類回収破壊法に対応するため、東京都にフロン回収業者として登録し、産業廃棄物として搬入された業務用冷凍機等の冷媒用フロンを適正に回収して破壊処理業者に引き渡しています。

この回収により、廃棄に伴ってフロンが大気中に放出されずに済み、温暖化防止に役立っています。





5S活動成果をあげています

職場環境の維持・改善と従業員のモラル向上のために推進している5S活動は、定期的な推進会議で、一歩一歩改善を重ねており、全員の意識が向上し、整理整頓が身についてきています。

社内が整然とすることで、5Sが当たり前のこととなっていることは、安全衛生の面からもうれしい成果です。



グリーン購入でも環境配慮をしています

物品の購入については、購入の必要性を十分に検討して、品質や価格だけでなく、環境負荷ができるだけ小さい製品やサービスを、また、その製品のライフサイクルにおける環境負荷を考慮して選び、使用済みとなった後も再使用可能な製品、そして処理・処分が容易なものを、環境負荷の低減に努める事業者から優先して購入しております。



労働安全衛生

隔月に職場安全衛生環境会議を開催して、業務上取り扱う産業廃棄物の危険性については、その特性を考慮して作業すること、重機、運搬車輛の取り扱いには細心の注意を払うことなどを周知させて、全従業員が安全で健康的な職場で働けるよう取り組んでいます。



本社食堂

また快適な職場環境形成のために、各工場とも休憩を兼ねた食堂設置しており、作業終了後は、シャワーで汗を流して、使用した作業衣を洗濯できるなど、従業員の衛生と健康を配慮して、作業場の環境維持に努めています。



千葉工場 シャワー室

教育・コミュニケーション

環境教育（意識と知識の向上の確認）

当社は、環境保全に関する意識と知識を向上させ、社員一人ひとりが前向きに業務を遂行できるように収集運搬協力会社のトライマテリアルを含めて、年に1回以上の環境教育や安全衛生に関する会議を開催しています。



資格取得の奨励（安全作業のために）

毎日の作業を安全第一で効率を上げるために、重機等機械設備の知識及び作業技能を修得するよう、必要資格の習得を奨励しております。

資格区分	人数	資格区分	人数
産廃中間処理施設技術管理者	1	運行管理者	1
破砕リサイクル施設技術管理士	2	冷媒回収	3
「PCB廃棄物の収集運搬従事者講習会」終了	1	救命技能	3
「特管産廃の許可申請に関する講習会」修了	3	粉塵作業	1
「産廃の許可申請に関する講習会」修了	12	EMS審査員補	1
「産業廃棄物処理業者講習会」受講	11	EMS内部監査員	6
大型運転免許	10	ISMS内部監査員	1
大型特殊	5	公害防止管理者大気第1種	1
ユンボ	25	公害防止管理者水質第1種	1
フォークリフト	29	危険物取扱者甲種	1
小型移動クレーン	13	危険物取扱者乙種4類	1
牽引	1	安全管理者	2
玉掛技能講習	21	安全衛生推進者	1
ショベルローダー	2	衛生管理者	1
高所作業クレーン	3	食品衛生管理者	1
床上操作クレーン	2	整備管理者	1
5t未満クレーン	6	防火管理者	2
天井クレーン	1	電気工事士 第2種	1
移動式クレーン	1	機械製図作業 2級	1
はい作業	2	建築士 2級	1
ガス溶接	7	セーフティインストラクター	1
アーク溶接	6	ダイオキシニンストラクター	1

営業担当者テスト

排出者の皆様のお役に立つよう、営業担当者に対して、毎週、テストを行っております。

産業廃棄物処理法をはじめ、当社が取り扱う廃棄物の特徴や、最終処分までのリサイクルフロー、そして中間処理業が循環型社会形成に直接貢献できる事業であることの誇り、接客マナー、社会情勢などあらゆることを対象とした内容です。

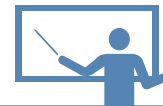
いつも緊張して、受けております

営業部：風間 成洋

毎週、営業担当者向けのテストがあり、いつも緊張して受けておりますが、結果として知識の確認と蓄積が出来ることで排出事業者であるお客様の要望にも即対応できるようになりました。

営業という業務を通して、お客様にも地球温暖化防止の役に立っていただけののだと思うと、外回りの暑さ寒さも跳ね返すエネルギーがみなぎります。





防災訓練

作業の安全性には常に注意を払い、毎日の朝礼時には従業員への喚起をおこなっております。

また、毎月の防災訓練にも力をいれて、不測の災害に備えております。

千葉工場も独自に実施しています。



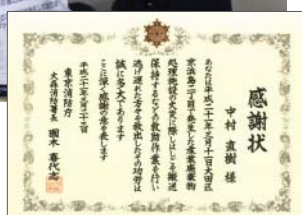
TOPICS

救助活動のお手伝いで

消防署長から感謝状をいただきました

3月に近隣で火災が発生した際の当社社員（中村課長）の救助活動に対して、大森消防署長から感謝状をいただきました。

防災訓練での心がまえが活きました。



懇親パーティで

社内コミュニケーションを図りました

従業員への感謝をこめ、福利厚生も兼ねたレクリエーションとして年に何回か懇親パーティを開催し、従業員相互のコミュニケーションを図っています。



協力会社の紹介

トライマテリアル株式会社の紹介

当社は、平成18年（2006年）、東港金属株式会社の協力会社として創業し、産業廃棄物の収集運搬業務や東港金属関連の輸送業務を請負い、業績を発展してまいりました。今後も、幅広い業種・業界の多くのお客様から信頼される収集運搬会社として、実績を拡大してまいります。

会社概要

社 名 トライマテリアル株式会社
代 表 者 代表取締役社長 山本 兼嗣
設 立 2006年（平成18年）1月
資 本 金 1,000万円
従業員数 19名（2009年8月1日現在）
年 商 約6億円（2008年12月期）
事 業 所 本社（東京都港区芝2-7-2 芝園ビル4階）
東京営業所（東京都大田区京浜島2-20-4）
主な取引先 東港金属株式会社

事業内容

- *鉄鋼、ステンレス、プラスチック、アルミニウム、銅等非鉄金属製品及びスクラップの加工処理並びに売買
- *産業廃棄物及び一般廃棄物の収集運搬業
- *廃プラスチックのリサイクル事業
- *一般貨物自動車運送事業
- *貨物運送取扱事業
- *古物商
- *労働者派遣法に基づく特定労働者派遣事業



沿 革

2006年(平成18年) 1月 東京都中央区に一般貨物自動車運送事業、産業廃棄物収集運搬業及び特定労働者派遣事業を目的として設立
東京都大田区京浜島に東京営業所を設立

3月 特定労働者派遣事業許可

6月 一般貨物自動車運送事業許可

7月 各地の産業廃棄物収集運搬業許可取得開始

2008年（平成20年） 3月 東京都港区に本社移転

お客様の要望に沿って

東港金属(株)が受託した産廃を、運搬車、時間外収集などお客様の要望に沿って集荷に伺い、確実安全に、指定された中間処理場、最終処分場へ輸送します。

又、ドライバーズ会議を定期的に行い、安全第一と健康管理の自覚を心がけた勤務体制を敷いています。



山本社長



社員資格一覧表

資格区分	人数
「特管産廃の許可申請に関する講習会」修了	2
「産廃の許可申請に関する講習会」修了	1
「産業廃棄物処理業者講習会」受講	1
大型運転免許	17
大型特殊	2
ユンボ	9
フォークリフト	15
小型移動クレーン	8
牽引	7
玉掛技能講習	10
5t未満クレーン	1
移動式クレーン	1
ガス溶接	3
運行管理者	3
EMS内部監査員	2
安全管理者	2
衛生管理者	1
食品衛生管理者	1
整備管理者	2
防火管理者	1
セーフティインストラクター	1
危険物取扱者乙種4類	1



エコドライブを心がけています

班長 大石

集荷時間によっては、交通渋滞もあり、思うに任せないときもありますが、ドライバーの職務は集荷物を安全確実に運ぶことだと常に意識し、規定重量・法定速度を厳守しています。

環境面では、駐停車時にアイドリングストップをして排気ガスを少しでも減少させることが地球温暖化防止の役に立つことになると、エコドライブを心がけています。

収集運搬可能エリア（東港金属と協力会社トライマテリアル）

産業廃棄物・特別管理産業廃棄物収集運搬業許可保有品目(H21.10.14現在)

		岩手県	盛岡市	福島県	郡山市	いわき市	栃木県	宇都宮市	群馬県	前橋市	茨城県	埼玉県	さいたま市	川越市	東京都	千葉県	千葉市	船橋市	柏市	神奈川県	横浜市	川崎市	横須賀市	相模原市	長野県	長野市	静岡県	静岡市	
産業廃棄物	汚 泥						○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	●	○	●	●	○	○	○	○			
	廃 油						●	●	○	○	●	○	○	○	●	●	○	○	●	○	●	●	○	○	○	○			
	廃 酸						○	○	○	○		○	○	○	●	●	○	○	●	○	●	●	○	○	○	○			
	廃アルカリ						○	○	○	○		○	○	○	●	●	○	○	●	○	●	●	○	○	○	○			
	廃プラスチック類	●	●	○	●	○	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	○	○
	紙 く ず	●	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	●	○	●	●	○	○	○	○		
	木 く ず	●	○	○	○	○	●	●	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○
	繊維くず	●	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	●	○	●	●	○	○	○	○		
	動植物性残渣						○	○	○	○		○	○	○	●	●	○	○	●	○	●	●	○	○	○	○	○		
	ゴムくず						○	○	○	○		●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
	金属くず	●	●	○	●	○	●	●	○	○	○	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	○	○
	ガラスくず、 コンクリートくず 及び陶磁器くず	●	●	○	●	○	●	●	○	○	○	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	○	○
がれき類	●	○	○	○	○	●	●	○	○	○	●	●	●	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
産業廃棄物特別管理	廃 酸 PH 2.0 以下														○	○			○		○	○		○					
	廃アルカリ PH 12.5 以上														○	○			○		○	○		○					
	廃石綿等														○	○			○		○	○		○					

○トライマテリアル株式会社のみ保有 ●東港金属株式会社のみ保有 ●両社とも保有

法のおよびその他の要求事項

法規制で当社及びトライマテリアル株式会社に関連するものは以下の通りです。

第64期（2008年7月～2009年6月）は行政より指導・勧告等を受けるものではありませんでした。

環 境 側 面	法、条例、等	要求事項（当社該当主要項目のみ）	該当施設等	該当部署	必用資格
自動車運行	道路交通法	①自動車免許、速度制限、積載制限	運搬車輛・自家用車	運搬班	大型・普通免許
	NOx・PM法	①規制対応車種 ②PM減少装置の取り付け	—	運搬班	—
業 * 廃棄物の受入 * 収集運搬及び処分業	金属屑 廃プラスチック類 ガラス屑及び 陶磁器屑	①廃棄物再生業／廃棄物の収集運搬及び処分業の許可 ②廃棄物の保管施設への掲示板の設置 ③委託基準の順守 ④マニフェストの使用及び返却等の管理 ⑤廃棄物処理責任者の設置 ⑥二社契約；許可番号、事業の範囲、有効期限、処理能力、重量、単価等の記載 ⑦産廃最終処分業者の処分場視察 ⑧環境に不可を与えない施設の維持管理 ⑨資源化を推進し、最終処分量の削減 ⑩地域住民との協調	業として被処理物の受け入れ	全体	収集運搬業 中間処理業 古物商
事業者 廃棄物の排出	産業廃棄物の排出		業務全般からの排出		
業 廃家電製品の受入	テレビ エアコン 冷蔵庫・冷凍庫 洗濯機 衣類乾燥機	家電リサイクル法	①再商品化工場への運搬 ②管理票（家電リサイクル券）	指定引取場所	事務班 ヤード班
事業者 廃家電・廃パソコン 類製品の排出	テレビ エアコン 冷蔵庫・冷凍庫 洗濯機 衣類乾燥機 パソコン類	家電リサイクル法 改正リサイクル法			事務班
トラックスケールの使用	トラックスケール	計量法	①トラックスケール台貫計量誤差検定 1回/2年 検査	トラック スケール 20t・40t・ 50t・60t	事務班
火災の発生	指定可燃物	消防法	指定可燃物貯蔵量調査	ヤード班	ヤード班
フロン類の回収	業務用空調機・ 業務用冷蔵庫から フロン回収	フロン回収破壊法 改正フロン回収 破壊法	東京都知事による登録 * 注） 適正回収、行程管理制度、引取証明書の 交付	ヤード班	ヤード班 営業
PCB入りコンデン サーの保管	PCB入り コンデンサー	PCB廃棄物特別 措置法	PCB廃棄物の適正な保管 保管状況の東京都への報告	ヤード倉庫	管理責任者
材料およびエネル ギーの使用を物品 の購入時に考慮	物品の購入	グリーン購入法	グリーン調達を推進し、環境に与える 負荷を軽減する	事務班	事務班

* 注）1月に、作業手順の不備と作業者間の連絡ミスによるフロンガスの漏洩がありましたので、行政へ報告し、作業手順書確認等の教育訓練を行い、再発防止の徹底を図っております。

ガイドライン対照表



環境報告書ガイドライン2007年版における項目

掲載ページ

【基礎的情報:BI】		
BI-1	経営責任者の緒言	5
BI-2-1	報告の対象組織・期間・分野	1,2
BI-2-2	報告対象組織の範囲と環境負荷の捕捉状況	1,2
BI-3	事業の概況（経営指標を含む）	3,4
BI-4-1	主要な指標等の一覧	3,4,10,21
BI-4-2	事業活動における環境配慮の取組に関する目標、計画及び実績等の総括	3,4,9,10,21
BI-5	事業活動のマテリアルバランス（インプット、内部循環、アウトプット）	8
【マネジメント・パフォーマンス指標：MPI】		
MP-1-1	事業活動における環境配慮の方針	7
MP-1-2	環境マネジメントシステムの状況	11
MP-2	環境に関する規制の遵守状況	21
MP-3	環境会計情報	-
MP-4	環境に配慮した投融資の状況	14
MP-5	サプライチェーンマネジメント等の状況	11,12,19
MP-6	グリーン購入・調達の状況	16
MP-7	環境に配慮した新技術、DfE等の研究開発の状況	13,14
MP-8	環境に配慮した輸送に関する状況	8,9,10,20
MP-9	生物多様性の保全と生物資源の持続可能な利用の状況	-
MP-10	環境コミュニケーションの状況	17,18,19
MP-11	環境に関する社会貢献活動の状況	15,18
MP-12	環境負荷低減に資する製品・サービスの状況	13,14
【オペレーション・パフォーマンス指標：OPI】		
OP-1	総エネルギー投入量及びその低減対策	8,9,10
OP-2	総物質投入量及びその低減対策	8,9,10
OP-3	水資源投入量及びその低減対策	8
OP-4	事業エリア内で循環的利用を行っている物質等	8
OP-5	総生産品生産量又は総商品販売量	4,8
OP-6	温室効果ガスの排出量及びその低減対策	8,9,10
OP-7	大気汚染、生活環境に係る負荷量及びその低減対策	8,9,10,15
OP-8	化学物質の排出量、移動量及びその低減対策	8
OP-9	廃棄物等総排出量、廃棄物最終処分量及びその低減対策	4,8,9,10
OP-10	総排水量及びその低減対策	8
【環境効率指標：EEI】		
	環境配慮と経営との関連状況	5,6,7,8,9,10,13,14
【社会パフォーマンス指標：SPI】		
	社会的取組の状況	15,16,17

